



三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型) 【愛称:ユーロスター・プレミアム】 第14期分配金のお知らせ

追加型投信/海外/債券

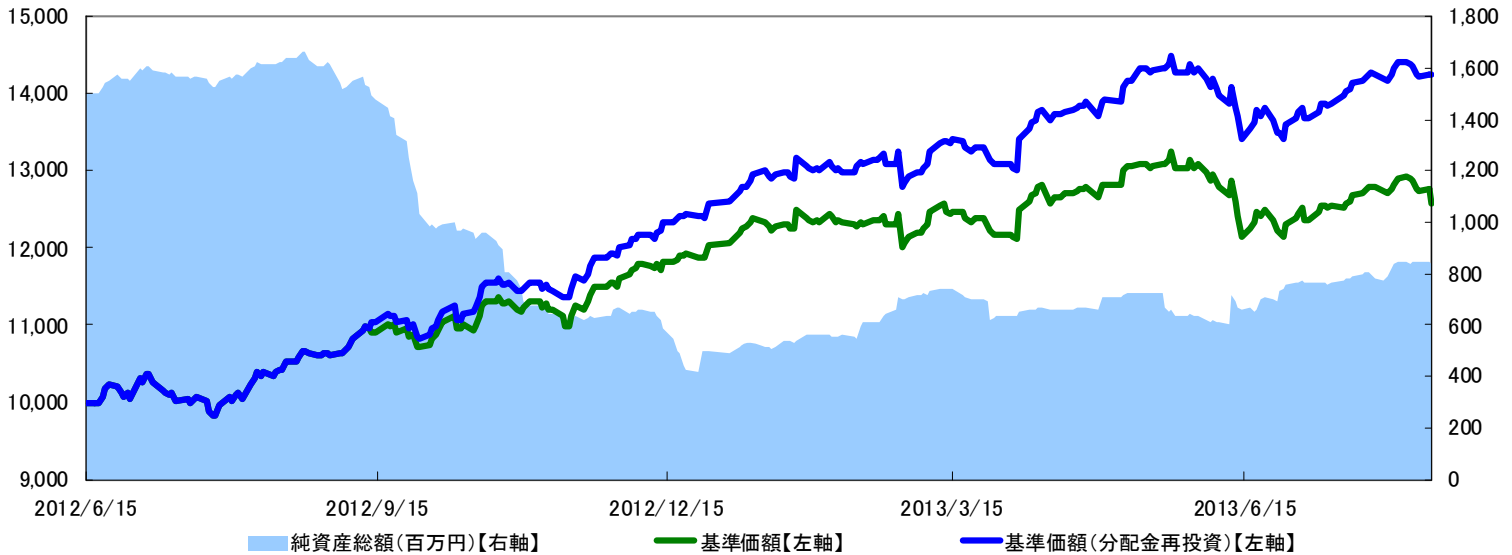
平素は「三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】」をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは2013年8月13日に第14期の決算を行い、基準価額の水準等を考慮し、当期の分配金を200円といたしました。

当ファンドは、2012年6月15日の設定来順調に推移し、設定来の基準価額(分配金再投資)は42.58%の上昇となっております。次頁以降で分配金変更の背景、欧州ハイイールド債券市場、欧州経済の現状と見通し等についてまとめております。ご参照のほどよろしくお願い申し上げます。

基準価額の推移

(期間:2012年6月15日(設定日)~2013年8月13日)



- ・ 基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・ 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.9955%(税込)(上限値))控除後の値です。(上限値は、投資対象とする投資信託証券における信託報酬率を含めた実質的な信託報酬率を算出したものです。)
- ・ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

騰落率 (2013年8月13日現在)

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.78%	-0.46%	9.16%	37.89%	--	42.58%

- ・ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・ 設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

分配金実績(税引前) (第9期~第14期)

設定来累計		
1,520 円		
第14期 (2013/8/13)	第13期 (2013/7/16)	第12期 (2013/6/13)
200 円	120 円	120 円
第11期 (2013/5/13)	第10期 (2013/4/15)	第9期 (2013/3/13)
120 円	120 円	120 円

第14期(2013年8月13日)

200円
(1万口当たり、税引前)

- ・ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

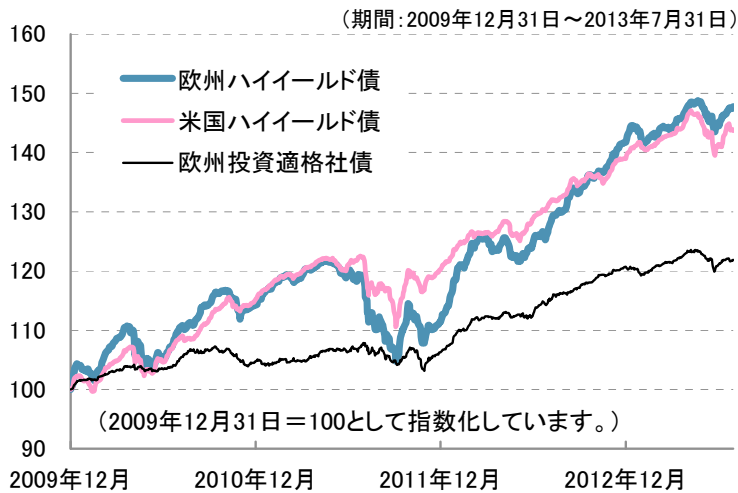
■ 上記表、グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型) 【愛称:ユーロスター・プレミアム】 第14期分配金のお知らせ

Q1. なぜ分配金を引き上げたのですか？また、いつまでこの分配金が続くのですか？

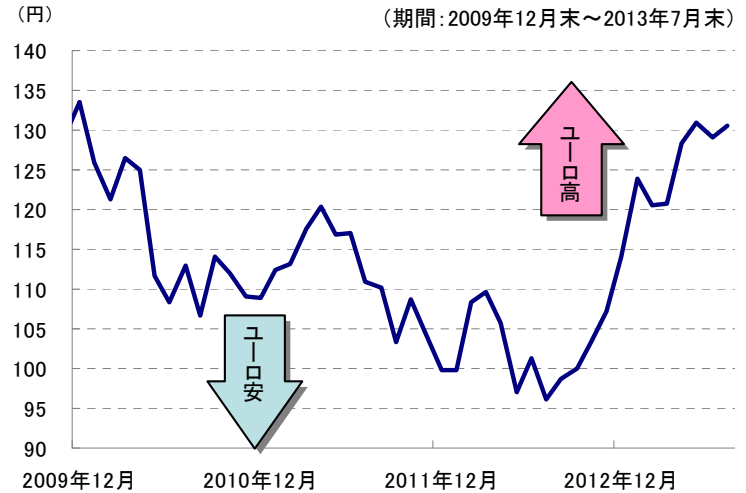
基準価額の上昇分を、受益者の皆様に還元するためです。欧州ハイイールド債券市場が順調に推移したことや、当ファンドの収益の源泉の一つである「通貨カバード・コール戦略」が功を奏したことにより上昇した基準価額の水準等を考慮して今般分配金を引き上げました。なお、分配金は確定したものではありません。市況・運用の状況次第では変更となる場合があり、将来の額をお約束するものではありません。

各種指数の推移(現地通貨ベース)



(出所)BofAメリルリンチ社、パークレイズ・キャピタル社のデータより三菱UFJ投信作成

ユーロ(対円)の推移

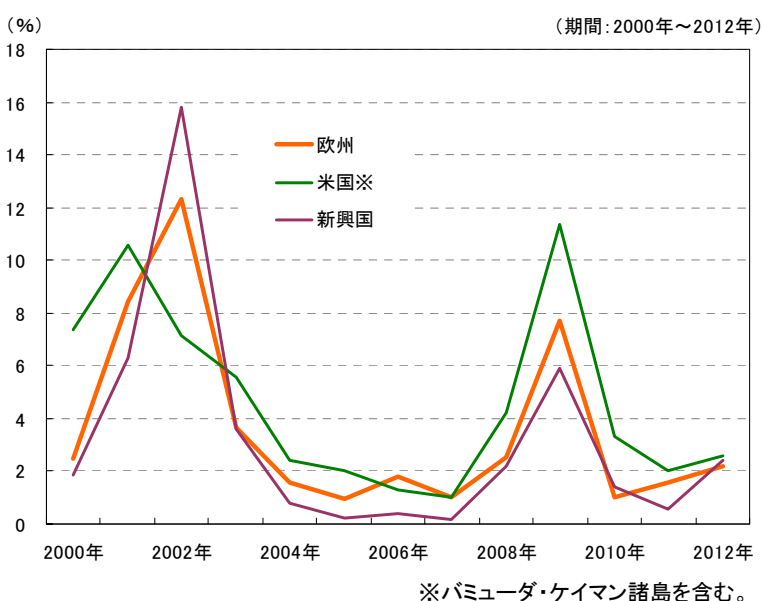


(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

Q2. ハイイールド債券市場の状況はどうなっていますか？

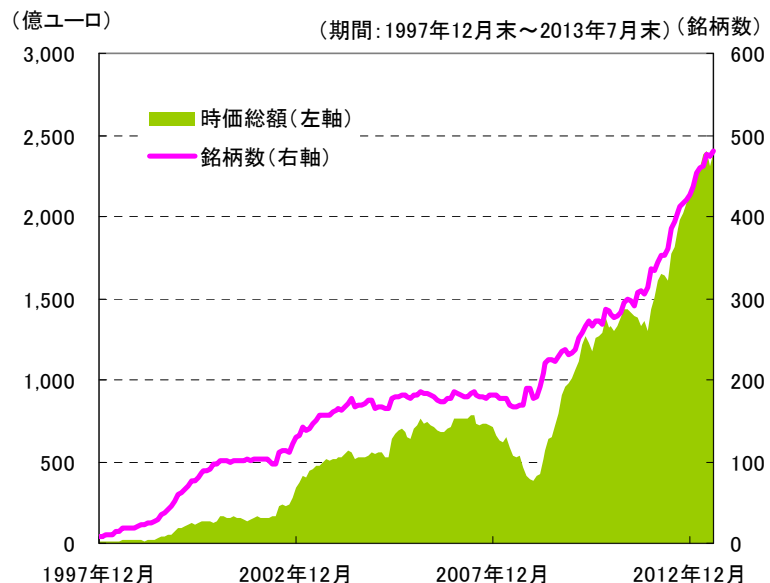
欧州の財政問題に対する危機感が徐々に後退し、落ち着きを見せ始めるなか、欧州ハイイールド債券市場には資金流入が続いています。

各国・地域別ハイイールド債券のデフォルト率



(出所)スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社のデータより三菱UFJ投信作成

欧州ハイイールド債券の市場規模



(出所)BofAメリルリンチ社のデータより三菱UFJ投信作成

■上記グラフは一部指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については【当資料で使用した指数について】をご覧ください。■上記表、グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。■本見通しなし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

※後記の「当資料のご利用に当たっての注意事項等」をご覧ください。

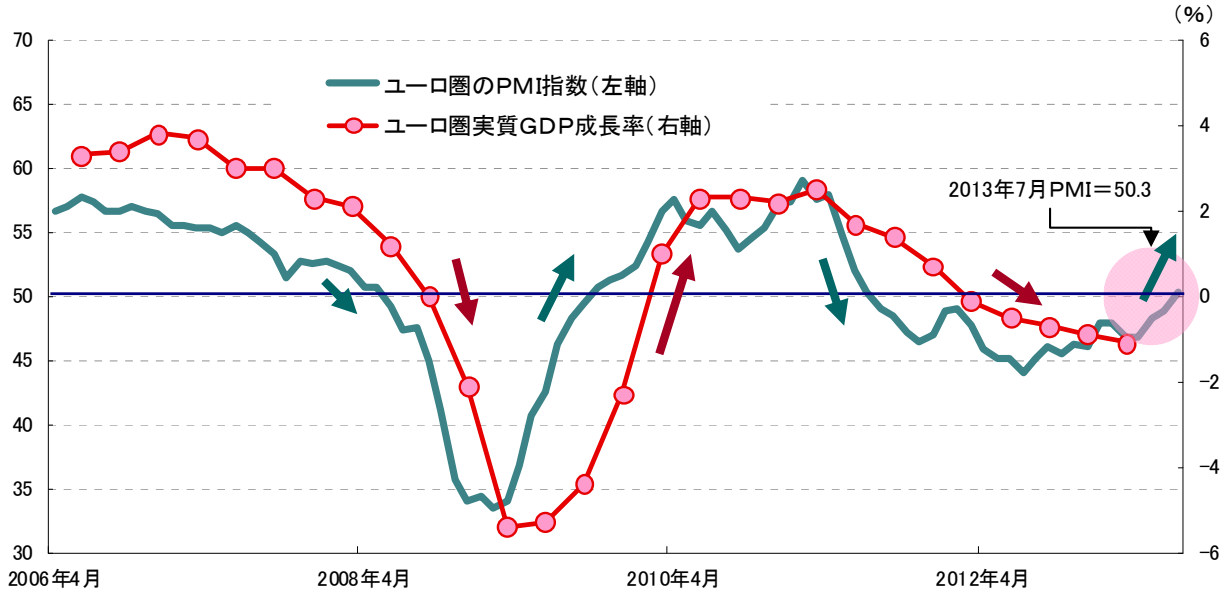
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)
【愛称:ユーロスター・プレミアム】 第14期分配金のお知らせ

Q3. 欧州経済の見通しはどうでしょう？

ギリシャ問題に端を発する欧州債務問題は未だ解決途上ですが、2013年7月のユーロ圏製造業景況指数(PMI)が2年ぶりに50を上回り、景気後退局面にある欧州にも景気回復の兆しが見られはじめました。PMIの50は景気分岐点と言われており、PMIが50を超えた後、GDP成長率もプラスに転じる傾向にあります。

ユーロ圏PMI指数と実質GDP成長率

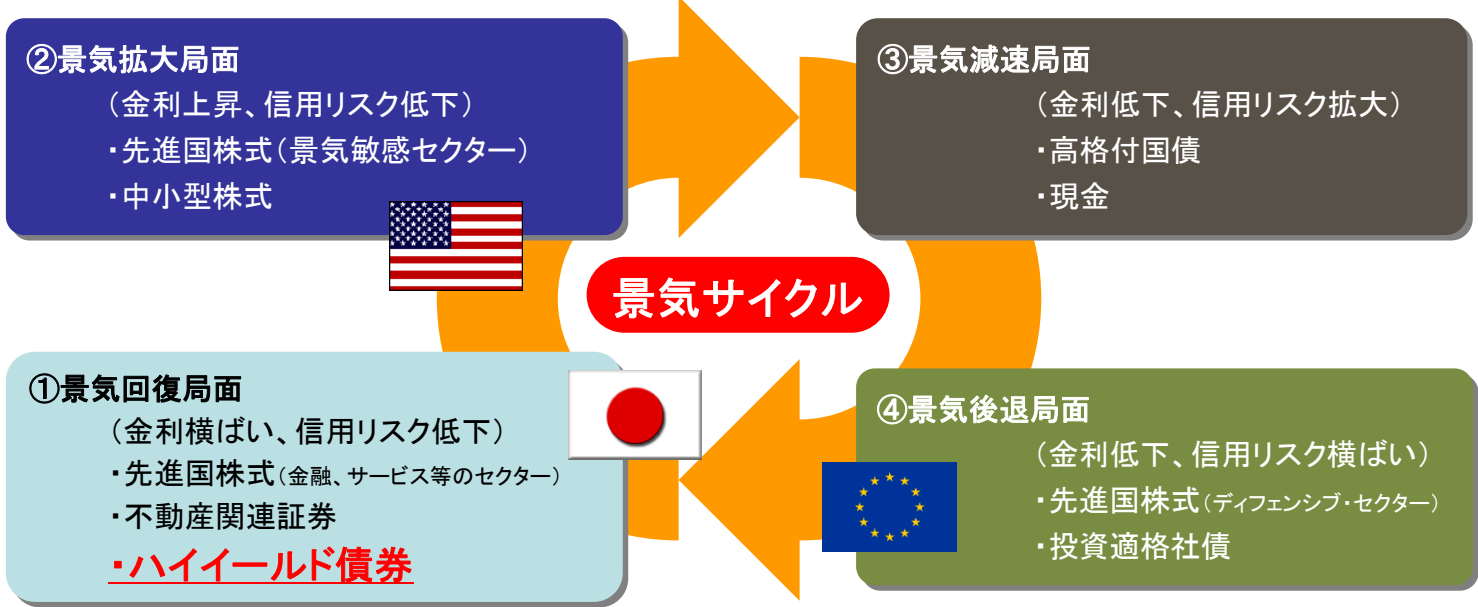
(期間:2006年4月~2013年7月、実質GDP成長率は四半期データ)



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

景気サイクルと各局面における投資対象イメージ

景気回復局面においては、金利の大きな変動がない中で信用リスクの低下が想定され、ハイイールド債券は恩恵を受けやすい資産クラスと考えられます。



・上記はあくまでも考え方の一例であり、いかなる局面においても上記のようになることを示唆・保証するものではありません。

(出所)UBSグローバル・アセット・マネジメント社作成

■ 上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。■ 本見通しは分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型) 【愛称:ユーロスター・プレミアム】 第14期分配金のお知らせ

運用担当者コメント ～2013年1-6月の運用状況と今後の見通し、運用方針について～

市況の推移と運用状況

<欧州ハイイールド債券市況>

【2013年1-3月】欧州ハイイールド債券市況は、2013年始め、米国のいわゆる「財政の崖」問題が当面回避されたことなどから投資家のリスク選好姿勢が強まり上昇基調となりました。その後、スペインの政治汚職問題報道、イタリアの総選挙を巡る不透明感の強まりなどをきっかけとして、振幅の大きい展開となりましたが、グローバル投資家の利回りを求める動きなどを背景に、欧州ハイイールド債券のスプレッドは、ほぼ横ばいとなりました。3月に株価市況の改善などにより市場のリスク選好姿勢が高まると、ハイイールド債券市場への資金流入が続き、一時キプロスへの支援に伴って欧州信用不安が再燃したものの、ハイイールド債券市場への影響は限定的となりました。

【2013年4-6月】4月は、欧州の経済指標が強弱入り交じる中、イタリア政情の安定化やECB(欧州中央銀行)の緩和的な金融政策への期待感が高まり、欧州ハイイールド債券のスプレッドは大幅に縮小しました。5月に入っても、ECBの利下げ、米国経済指標の改善などから欧州社債市場は堅調に推移していましたが、5月下旬にFRB(米連邦準備制度理事会)による量的緩和策の早期縮小懸念が台頭すると、6月にかけて債券は全面的に売られる展開となり、欧州ハイイールド債券の利回りも上昇する展開となりました。

<運用実績>

2013年1-6月の当ファンドのパフォーマンスは、5月下旬から6月にかけて下落する局面があったものの、総じて堅調に推移しました。セクター要因で金融のアンダーウェイトがマイナスに影響したものの、スプレッド水準に魅力がある銘柄への投資を行ったことで、銘柄選定が大きくプラスに寄与しました。

市況見通し、運用方針

<欧州ハイイールド債券市況の見通し>

2013年5月に米国の量的緩和策の早期縮小懸念が台頭して以来、グローバル市場の不透明性が高まっています。ハイイールド債券の価格は、国債金利の変動(国債価格の値動き)と投資家のセンチメントに大きく影響されますが、米国FRBと対照的にECBは金融緩和の継続を表明しており、米国ハイイールド債券と比較して、欧州ハイイールド債券にとって追い風となる投資環境が続くものとみています。今後も米国の量的緩和策の縮小動向はリスク要因として注視が必要ですが、一方で欧州ハイイールド債券市場にとってプラス材料となりうる、以下の点に着目しています。

- ①2013年6月、リスク資産からの流出が相次ぐ中、欧州ハイイールド債券市場からの流出は限定的であったこと。
- ②米国の量的緩和策の縮小の前提となる米国景況感の改善は、ハイイールド債券の発行企業にとって好材料であること。
- ③欧州の企業の景況感は緩やかに改善する兆しが見られること。
- ④欧州主要国、周辺国とも回復の兆しが見られ、2013年後半には欧州全体の経済成長率が改善する見通しであること。

今後も欧州の緩和的な金融政策の下、景況感の緩やかな改善が見込めることなどから、欧州ハイイールド債券市場は堅調に推移する公算が高いと見ています。

<当面の運用方針>

欧州ハイイールド債券のポートフォリオについては、中長期に堅調な推移を見込んでいるものの、今後もFRB等の政策動向などに影響され、振幅が大きい展開が続くものとみています。このため、足下は市況の各種指標に対して概ね中立の状態を維持しております。ただ、足下の変動性の大きい市場環境のなかでは、ファンダメンタルズが良好で割高だった銘柄・業種に投資する機会が得られるとも捉えており、今後は銘柄分析・業種選択を慎重に行った上で、割安な銘柄・業種への投資比率を拡大すること等で今後も安定した超過収益の確保を目指して運用を行います。

<通貨カバード・コール戦略>

通貨カバード・コール戦略では、ユーロ円為替レートの変動率が一定水準以上で推移したため、概ね年率8%のプレミアムを享受することができました。引き続き年率8%のプレミアムをターゲットとして運用する予定です。

(出所)UBSグローバル・アセット・マネジメント社の資料より三菱UFJ投信作成

■本見通し・分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)
【愛称:ユーロスター・プレミアム】 第14期分配金のお知らせ

(ご参考)当ファンドの通貨カバード・コール戦略

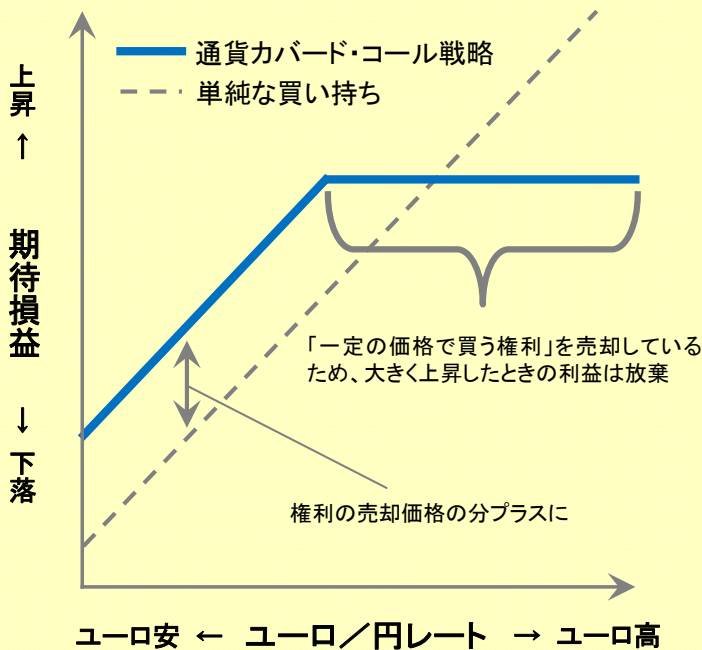
例えば現在1ユーロ=130円として、1か月後に135円にユーロが上昇していれば5円が投資家の利益となります。一方、通貨カバード・コール戦略とは、「1か月後にユーロ/円レートがある水準以上上昇しても、その利益はあなたに渡すから、いま私にその対価として現金をください」という契約をするというものです。

従って、ユーロが円に対して1か月後どれだけ上昇していても、契約した水準を超えてユーロ/円レートが上昇した分の利益は放棄することになりますが、逆にユーロが円に対して値下がりがりしたとしても、もらった現金は返す必要はありません。将来の不確実な収益チャンスを放棄する代わりに、現金を確実に獲得する方法と言い換えることもできます。

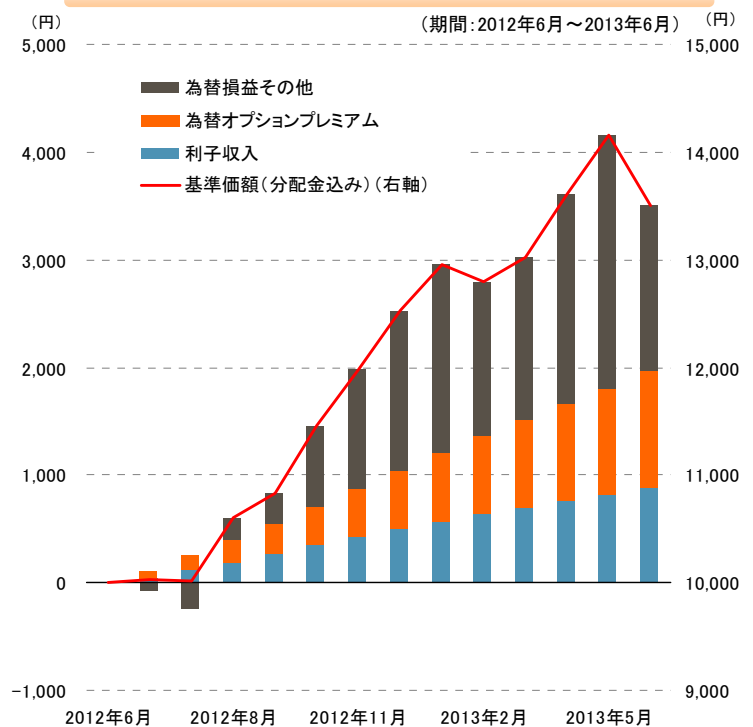
欧州ハイイールド債券からのインカムに、この通貨カバード・コール戦略での収益を加えることにより、相対的に高い収益の獲得をめざす運用が当ファンドの特徴です。

(出所)UBSグローバル・アセット・マネジメント社作成

＜当ファンドの通貨カバード・コール戦略のイメージ＞



基準価額要因分析



(出所)UBSグローバル・アセット・マネジメント社のデータより三菱UFJ投信作成

【当資料で使用した指数について】

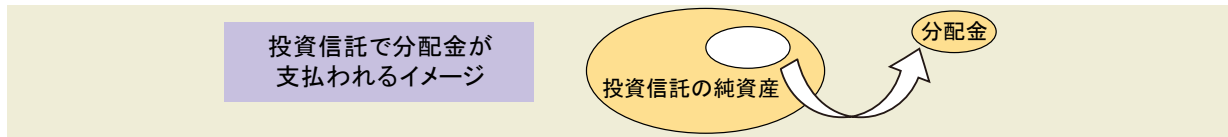
- 欧州ハイイールド債券【BofAメリルリンチ 欧州ハイイールド インデックス】
BofAメリルリンチ 欧州ハイイールド インデックスとは、BofAメリルリンチ社が算出する欧州のハイイールド債券の値動きを表す指数です。
- 欧州投資適格債券【パークレイズ・キャピタル・ユーロ総合インデックス】
パークレイズ・キャピタル・ユーロ総合インデックスとは、パークレイズ・キャピタル社が算出するユーロ圏の投資適格債券の値動きを示す代表的な指数です。
- 米国ハイイールド債券【BofAメリルリンチ 米国ハイイールド インデックス】
BofAメリルリンチ 米国ハイイールド インデックスとは、BofAメリルリンチ社が算出する米国のハイイールド債券の値動きを表す指数です。

今後とも引き続き、『三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)
【愛称:ユーロスター・プレミアム】』をご愛顧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

■ 上記表、グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。■ 本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

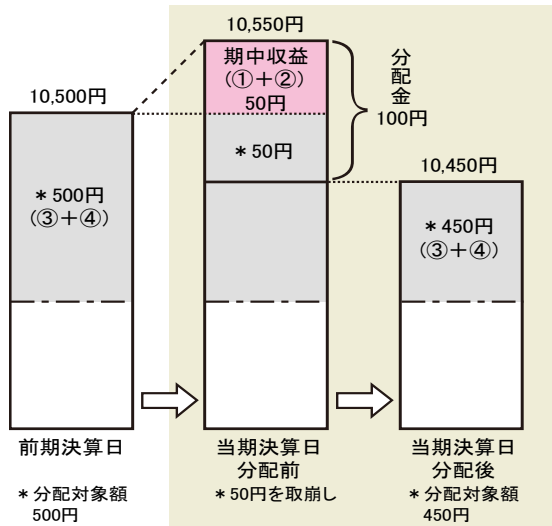


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

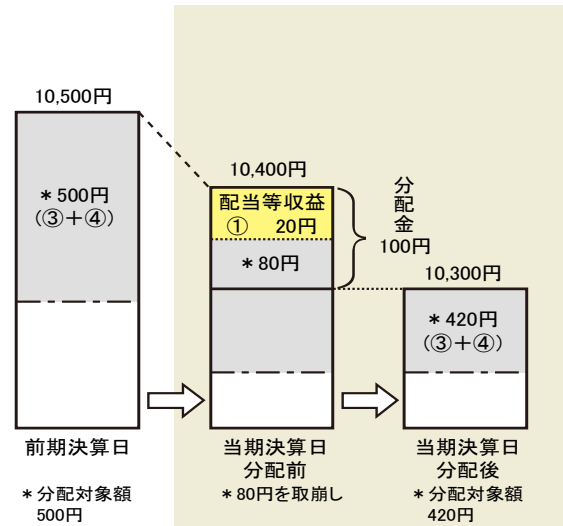
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



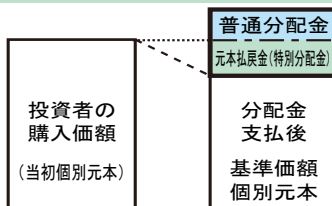
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

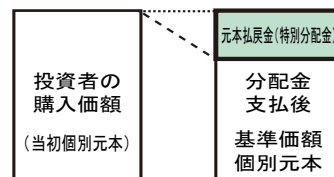
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】
ファンドの目的・特色
■ファンドの目的

ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用することにより、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色
(投資対象)

- ・主として円建外国投資信託であるユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラスの投資信託証券への投資を通じて、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却を実質的にを行います。これにより、一定以上の為替差益を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用します。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
- ・コール・オプションの売却に伴い、オプション・プレミアム収入を獲得する一方、権利行使に伴う損失が発生する場合があります。

(ハイイールド債券とは)

- ・ファンドが投資対象とするハイイールド債券とは、格付会社(スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)、ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's)など)によりBB格相当以下の低い格付けを付与された債券をいいます。一般的にハイイールド債券は、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して、債券の元本や利子の支払いが滞ることや、支払われなくなるリスクが高いため、通常、その見返りとして投資適格債券よりも高い利回りを投資家に提供しています。つまり、ハイイールド債券は、主として社債を中心とした低格付けの発行体が発行する債券で、信用力が低い反面、高い利回りが期待できる債券です。

(コール・オプションとは)

- ・コール・オプションとは、株式や通貨などを将来の特定の期日に、合意に基づいて定められた価格(権利行使価格)で買う権利のことです。この権利を売却することで売り手は代金(オプション・プレミアム)を得ますが、同時に満期日において権利行使に応じる義務を負います。当該コール・オプションの満期日において権利の買い手が権利を行使することで、売り手にとって損失が発生する可能性があります。このように、取引における最終的な損益は、オプション・プレミアム収入に、権利行使に伴う損失を加味して考える必要があります。ファンドが売却したコール・オプションは時価で評価され、満期日までの当該時価の変動が基準価額に影響します。そのため、コール・オプションの売却時点で、基準価額がオプション・プレミアム収入相当分上昇するものではありません(なお、コール・オプションの売却は円建外国投資信託であるユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラスが行います)。

(通貨カバード・コール戦略とは)

- ・ファンドにおける通貨カバード・コール戦略とは、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションを売却する戦略です。一定以上の為替差益(権利行使価格を超えたユーロ高によるもの)を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入の獲得をめざすものです。ファンドでは、原則として権利行使が満期日のみ可能なオプションを利用します。ファンドの損益は、通貨カバード・コール戦略による損益に加えて、原資産である債券の価格変動や利子収入等の影響を受けます。ファンドが実際に行うコール・オプションの売却は、市場環境の変化やファンドの設定・解約状況に応じて複数の異なる権利行使価格、満期日で随時行います。

(為替対応方針)

- ・実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。

(運用方法)

- ・投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

(運用の委託先)

- ・三菱UFJ投信は、投資信託証券への運用の指図に関する権限をユービーエス・グローバル・アセット・マネジメント株式会社に委託します。

(分配方針)

- ・毎月13日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。
- ・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

<主な投資制限>

- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への直接投資は行いません。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会



三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。また、円に対するユーロのコール・オプションの売却を行うため、円安・ユーロ高や対円でのユーロの価格変動率が上昇すること等によるコール・オプションの価格の上昇は、基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

「通貨カバード・コール戦略について」

ファンドは実質的にユーロ建ての債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却を行います。これにより、円安・ユーロ高による為替差益の一部または全部がオプション取引に伴う損失によって相殺される場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ファンドは、格付けの低いハイイールド債券を主要投資対象としており、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・オプション取引の満期日をまたいで円に対するユーロの価格が大きく変動した際には、その後当初の水準程度に戻った場合でも、基準価額は当初の水準を下回る可能性があります。

・円に対するユーロの価格が大きく下落する中でファンドへ大量の資金流入が発生した際には、その後円に対するユーロの価格が当初の水準程度に戻った場合でも、基準価額は当初の水準を下回る可能性があります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】
手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ロンドンの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2013年の該当日は1月21日、2月18日、3月29日、4月1日、5月27日、7月4日、8月26日、9月2日、11月11日、11月28日、12月25日、12月26日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2021年7月13日まで(2012年6月15日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	毎月13日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。(2014年1月1日以降)

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
お客さまが直接的に負担する費用

購入時	
購入時手数料	購入価額× 3.15%(税抜 3%) (上限) 販売会社にご確認ください。
換金時	
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	
運用管理費用 (信託報酬)	当該ファンド:純資産総額×年1.1655%(税抜 年1.11%) 投資対象とする投資信託証券:年0.83% 実質的な負担: 年1.9955%(税込) ※投資対象とする投資信託証券における料率を含めた実質的な料率(上限値)を算出したものです。
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

～手数料率3.15%(税込)の例～
例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×3.15%=31,500円となり、合計1,031,500円をお支払いいただくことになります。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信(*メール配信対象外ファンドもあります。)



